

様式1 (行政手続法適用：個票番号701)

申請に対する処分に係る審査基準・標準処理期間

平成27年1月27日作成

処 分 名	農業経営改善計画の認定	
根 拠 法 令 名	農業経営基盤強化促進法 (昭和55年法律第65号)	
根 拠 条 項	第12条第1項	
根 拠 条 文	同意市町村の区域内において農業経営を営み、又は営もうとする者は、農林水産省令で定めるところにより、農業経営改善計画を作成し、これを同意市町村に提出して、当該農業経営改善計画が適当である旨の認定を受けることができる。	
審 査 基 準 の 内 容	別紙のとおり	
標 準 処 理 期 間	総 期 間	30日 (日曜日、土曜日及び祝日は含まない。)
	経 由 機 関	3日 (機関名：厚岸町農業経営改善計画推進協議会)
	協 議 機 関	25日 (機関名：厚岸町農業経営改善計画推進協議会)
	処 分 機 関	2日 (機関名：産業振興課農業振興係)
所 管 部 署	産業振興課農業振興係	
備 考		

<p>審査基準 の内容</p>	<p>(農業経営改善計画の認定等) 第12条 4 同意市町村は、第1項の認定の申請があつた場合において、その農業経営改善計画が次に掲げる要件に該当するものであると認めるときは、その認定をするものとする。 (1) 町基本構想に照らし適切なものであること。 (2) 農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切なものであること。 (3) その他農林水産省令で定める基準に適合するものであること。 (農業経営改善計画の認定基準) 第14条 法第12条第4項第3号の農林水産省令で定める基準は、次のとおりとする (1) その農業経営改善計画の達成される見込みが確実であること。 (2) その農業経営改善計画に法第13条第2項に規定する関連事業者等（耕作又は養畜の事業を行う個人又は農地法（昭和27年法律第229号）第2条第3項に規定する農業生産法人（以下「農業生産法人」という。）を除く。）が法第12条第3項に規定する措置として当該農業経営改善計画を作成した者（農業生産法人であるものに限る。）に出資をする計画が含まれる場合にあつては、当該出資が次に掲げる要件に該当するものであること。 ア 当該農業経営改善計画を作成した者の農業経営の安定性の確保に支障を生じるおそれがないこと。 イ 当該農業経営改善計画を作成した者が株式会社である場合にあつては、農地法第2条第3項第2号チに掲げる者（当該関連事業者等を含む。ハにおいて同じ。）の有する議決権の合計が総株主の議決権の2分の1以上となるものでないこと。 ウ 当該農業経営改善計画を作成した者が持分会社（会社法（平成17年法律第86号）第575条第一項に規定する持分会社をいう。）である場合にあつては、農地法第2条第3項第2号チに掲げる者の数が社員の総数の2分の1以上となるものでないこと。 2 同意市町村が農業経営改善計画が前項第2号に掲げる基準に適合するかどうかを判断しようとするときは、当該同意市町村の長は、農業委員会の意見を聴かなければならない。</p>
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

様式1 (行政手続法適用：個票番号702)

申請に対する処分に係る審査基準・標準処理期間

平成27年1月27日作成

処 分 名	農業経営改善計画の変更の認定	
根 拠 法 令 名	農業経営基盤強化促進法 (昭和55年法律第65号)	
根 拠 条 項	第13条第1項	
根 拠 条 文	前条第一項の認定を受けた者 (以下「認定農業者」という。) は、当該認定に係る農業経営改善計画を変更しようとするときは、同意市町村の認定を受けなければならない。	
審 査 基 準 の 内 容	別紙のとおり	
標 準 処 理 期 間	総 期 間	30日 (日曜日、土曜日及び祝日は含まない。)
	経 由 機 関	3日 (機関名：厚岸町農業経営改善計画推進協議会)
	協 議 機 関	25日 (機関名：厚岸町農業経営改善計画推進協議会)
	処 分 機 関	2日 (機関名：産業振興課農業振興係)
所 管 部 署	産業振興課農業振興係	
備 考		

<p>審査基準 の内容</p>	<p>(農業経営改善計画の認定等) 第12条 4 同意市町村は、第1項の認定の申請があつた場合において、その農業経営改善計画が次に掲げる要件に該当するものであると認めるときは、その認定をするものとする。 (1) 町基本構想に照らし適切なものであること。 (2) 農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切なものであること。 (3) その他農林水産省令で定める基準に適合するものであること。 (農業経営改善計画の認定基準) 第14条 法第12条第4項第3号の農林水産省令で定める基準は、次のとおりとする (1) その農業経営改善計画の達成される見込みが確実であること。 (2) その農業経営改善計画に法第13条第2項に規定する関連事業者等（耕作又は養畜の事業を行う個人又は農地法（昭和27年法律第229号）第2条第3項に規定する農業生産法人（以下「農業生産法人」という。）を除く。）が法第12条第3項に規定する措置として当該農業経営改善計画を作成した者（農業生産法人であるものに限る。）に出資をする計画が含まれる場合にあつては、当該出資が次に掲げる要件に該当するものであること。 ア 当該農業経営改善計画を作成した者の農業経営の安定性の確保に支障を生じるおそれがないこと。 イ 当該農業経営改善計画を作成した者が株式会社である場合にあつては、農地法第2条第3項第2号チに掲げる者（当該関連事業者等を含む。ハにおいて同じ。）の有する議決権の合計が総株主の議決権の2分の1以上となるものでないこと。 ウ 当該農業経営改善計画を作成した者が持分会社（会社法（平成17年法律第86号）第575条第一項に規定する持分会社をいう。）である場合にあつては、農地法第2条第3項第2号チに掲げる者の数が社員の総数の2分の1以上となるものでないこと。 2 同意市町村が農業経営改善計画が前項第2号に掲げる基準に適合するかどうかを判断しようとするときは、当該同意市町村の長は、農業委員会の意見を聴かなければならない。</p>
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

様式1 (行政手続法適用：個票番号703)

申請に対する処分に係る審査基準・標準処理期間

平成27年1月27日作成

処 分 名	農業振興地域整備計画の変更に係る申出に対する決定	
根 拠 法 令 名	農業振興地域の整備に関する法律 (昭和44年法律第58号)	
根 拠 条 項	第13条第1項、第2項	
根 拠 条 文	別紙のとおり	
審 査 基 準 の 内 容	別紙のとおり	
標 準 処 理 期 間	総 期 間	75日 (日曜日、土曜日及び祝日は含まない。)
	経 由 機 関	10日 (機関名：北海道釧路総合振興局農務課)
	協 議 機 関	20日 (機関名：北海道)
	処 分 機 関	45日 (機関名：産業振興課農業振興係)
所 管 部 署	産業振興課農業振興係	
備 考		

根 拠 条 文	<p>第13条 都道府県又は市町村は、農業振興地域整備基本方針の変更若しくは農業振興地域の区域の変更により、前条第1項の規定による基礎調査の結果により又は経済事情の変動その他情勢の推移により必要が生じたときは、政令で定めるところにより、遅滞なく、農業振興地域整備計画を変更しなければならない。市町村の定めた農業振興地域整備計画が第9条第1項の規定による農業振興地域整備計画の決定により変更を必要とするに至ったときも、同様とする。</p> <p>2 前項の規定による農業振興地域整備計画の変更のうち、農用地等以外の用途に供することを目的として農用地区域内の土地を農用地区域から除外するために行う農用地区域の変更は、次に掲げる要件のすべてを満たす場合に限り、することができる。</p> <p>(1) 当該農業振興地域における農用地区域以外の区域内の土地利用の状況からみて、当該変更に係る土地を農用地等以外の用途に供することが必要かつ適当であつて、農用地区域以外の区域内の土地をもつて代えることが困難であると認められること。</p> <p>(2) 当該変更により、農用地区域内における農用地の集団化、農作業の効率化その他土地の農業上の効率的かつ総合的な利用に支障を及ぼすおそれがないと認められること。</p> <p>(3) 当該変更により、農用地区域内における効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に支障を及ぼすおそれがないと認められること。</p> <p>(4) 当該変更により、農用地区域内の第3条第3号の施設の有する機能に支障を及ぼすおそれがないと認められること。</p> <p>(5) 当該変更に係る土地が第10条第3項第2号に掲げる土地に該当する場合にあつては、当該土地が、農業に関する公共投資により得られる効用の確保を図る観点から政令で定める基準に適合していること。</p>
審 査 基 準 の 内 容	<p>(農業振興地域整備計画の基準)</p> <p>第10条 農業振興地域整備計画は、農業振興地域整備基本方針に適合するとともに第4条第3項に規定する計画との調和が保たれたものであり、かつ、当該農業振興地域の自然的経済的社会的諸条件を考慮して、当該農業振興地域において総合的に農業の振興を図るため必要な事項を一体的に定めるものでなければならない。</p> <p>2 市町村の定める農業振興地域整備計画は、議会の議決を経て定められた当該市町村の建設に関する基本構想に即するものでなければならない。</p> <p>3 市町村の定める農業振興地域整備計画のうち農用地利用計画は、当該農業振興地域内にある農用地等及び農用地等とすることが適当な土地であつて、次に掲げるものにつき、当該農業振興地域における農業生産の基盤の保全、整備及び開発の見地から必要な限度において農林水産省令で定める基準に従い区分する農業上の用途を指定して、定めるものでなければならない。</p> <p>(1) 集団的に存在する農用地で政令で定める規模以上のもの</p> <p>(2) 土地改良法(昭和24年法律第195号)第2条第2項に規定する</p>

土地改良事業又はこれに準ずる事業で、農業用排水施設の
新設又は変更、区画整理、農用地の造成その他の農林水産省令で
定めるものの施行に係る区域内にある土地

(3) 前2号に掲げる土地の保全又は利用上必要な施設の用に供さ
れる土地

(4) 第3条第4号に掲げる土地で、政令で定める規模以上のもの
又は第1号及び第2号に掲げる土地に隣接するもの

(5) 前各号に掲げるもののほか、果樹又は野菜の生産団地の形成
その他の当該農業振興地域における地域の特性に即した農業
の振興を図るためその土地の農業上の利用を確保することが
必要であると認められる土地

4 前項の農用地等及び農用地等とすることが適当な土地には、土
地改良法第7条第4項に規定する非農用地区域内の土地その他政
令で定める土地は含まれないものとする。

5 農業振興地域整備計画のうち第8条第2項第6号に掲げる事項
に係るものは、同号に規定する施設がその整備の目的に即して効
率的かつ適切に利用されるように定めるものでなければならない。

(農業振興地域整備計画の変更)

第13条 都道府県又は市町村は、農業振興地域整備基本方針の変更若
しくは農業振興地域の区域の変更により、前条第1項の規定によ
る基礎調査の結果により又は経済事情の変動その他情勢の推移に
より必要が生じたときは、政令で定めるところにより、遅滞なく、
農業振興地域整備計画を変更しなければならない。市町村の定め
た農業振興地域整備計画が第9条第1項の規定による

農業振興地域整備計画の決定により変更を必要とするに至ったとき
も、同様とする。

2 前項の規定による農業振興地域整備計画の変更のうち、農用地
等以外の用途に供することを目的として農用地区域内の土地を農
用地区域から除外するために行う農用地区域の変更は、次に掲げ
る要件のすべてを満たす場合に限り、することができる。

(1) 当該農業振興地域における農用地区域以外の区域内の土地利
用の状況からみて、当該変更に係る土地を農用地等以外の用途
に供することが必要かつ適当であつて、農用地区域以外の区域
内の土地をもつて代えることが困難であると認められること。

(2) 当該変更により、農用地区域内における農用地の集団化、農作
業の効率化その他土地の農業上の効率的かつ総合的な利用に支
障を及ぼすおそれがないと認められること。

(3) 当該変更により、農用地区域内における効率的かつ安定的な
農業経営を営む者に対する農用地の利用の集積に支障を及ぼす
おそれがないと認められること。

(4) 当該変更により、農用地区域内の第3条第3号の施設の有す
る機能に支障を及ぼすおそれがないと認められること。

(5) 当該変更に係る土地が第10条第3項第2号に掲げる土地に該
当する場合にあつては、当該土地が、農業に関する公共投資によ
り得られる効用の確保を図る観点から政令で定める基準に適合
していること。

3 都道府県知事は、必要があると認めるときは、市町村に対し、当
該市町村の定めた農業振興地域整備計画のうち農用地利用計画に
ついて第1項の規定による変更をするための必要な措置をとるべ

きことを指示することができる

- 4 第8条第4項及び第11条(第12項を除く。)の規定は市町村が行う第1項の規定による変更(政令で定める軽微な変更を除く。)について、第9条第2項及び第11条第12項の規定は都道府県が行う第1項の規定による変更(政令で定める軽微な変更を除く。)について、第12条の規定は同項の規定による変更について準用する。この場合において、同条第2項中「当該農業振興地域整備計画書」とあるのは、「当該変更後の農業振興地域整備計画書」と読み替えるものとする。